

日本小児科学会 予防接種・感染症対策委員会の推奨

①2歳から19歳未満に対して、経鼻インフルエンザワクチン（フルミスト）はこれまでの注射によるインフルエンザワクチン（不活化ワクチン）と同等に推奨しますが、喘息の子には不活化ワクチンを推奨します。

②経鼻ワクチンは弱毒ではありますが飛沫や接触によりインフルエンザワクチンの水平伝播の可能性があるために授乳中のお母さんや、免疫不全の家族がいる場合には、不活化ワクチンを推奨します。

③生後6ヶ月～2歳未満，19歳以上，免疫不全，無脾症，妊婦，ミトコンドリア脳筋症，ゼラチンアレルギー，中枢神経系の解剖学的バリア破綻などの場合は不活化ワクチンを推奨します。

④他の予防接種との接種間隔は特に規定がありません。

